

丹波市過疎地域持続的発展計画 新旧対照表（令和6年3月変更）

旧	新
5 頁中 第 1 章 基本的な事項 1 過疎地域の概況 (1) 自然的・歴史的・社会的・経済的諸条件 エ 経済的条件 《青垣地域》 青垣地域は、豊かな自然に囲まれており、パラグライダー練習場などのアウトドア施設があるほか、「丹波少年自然の家」など自然体験のできる社会教育施設や、「丹波布伝承館」といった歴史・文化体験施設、「道の駅あおがき」などの地域振興施設があり、地域の魅力を多様な地域資源を通じて体験できる。 17 頁中 4 地域の持続的発展の基本方針 (1) 地域の課題 (略) また、山南地域では、令和 5 年 4 月に 2 中学校を 1 校に統合する予定である。 (略) 20 頁中 (2) 課題等を踏まえた基本方針 エ 重点的に取り組む施策方針 産業・地域の振興 ・道の駅あおがきの再整備を起点とした「食・遊・学・泊」の賑わいの創出 (追加) (略) 24 頁中 第 2 章 移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成 (1) 現況と問題点 ア 移住・定住 (略) また、「丹波市立学校適正規模・適正配置方針」に基づき、2 中学校を 1 校に統合した中学校が令和 5 年 4 月に開校予定である。 (略)	5 頁中 第 1 章 基本的な事項 1 過疎地域の概況 (1) 自然的・歴史的・社会的・経済的諸条件 エ 経済的条件 《青垣地域》 青垣地域は、豊かな自然に囲まれており、パラグライダー練習場などのアウトドア施設があるほか、<u>「丹波布伝承館」と</u>いった歴史・文化体験施設、「道の駅あおがき」などの地域振興施設があり、地域の魅力を多様な地域資源を通じて体験できる。 17 頁中 4 地域の持続的発展の基本方針 (1) 地域の課題 (略) また、山南地域では、令和 5 年 4 月に 2 中学校を 1 校に統合した。 (略) 20 頁中 (2) 課題等を踏まえた基本方針 エ 重点的に取り組む施策方針 産業・地域の振興 ・道の駅あおがきの再整備を起点とした「食・遊・学・泊」の賑わいの創出 <u>・旧丹波少年自然の家が有する多様な資源を活かした地域振興に資する拠点整備</u> (略) 24 頁中 第 2 章 移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成 (1) 現況と問題点 ア 移住・定住 (略) また、「丹波市立学校適正規模・適正配置方針」に基づき、2 中学校を 1 校に統合した中学校が令和 5 年 4 月に開校した。 (略)

旧	新																				
26 頁中 （2）その対策 イ 地域間交流 ②地域の活性化 （略） ・豊かな自然に囲まれた「__丹波少年自然の家」の利活用 （略） 27 頁中 （3）計画 <table><tr><th>持続的発展施策区分</th><th>事業名（施設名）</th><th>事業内容</th><th>事業主体</th><th>備考</th></tr><tr><td>1 移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成</td><td><u>（追加）</u> （4）過疎地域持続的発展特別事業</td><td><u>（追加）</u> （略）</td><td><u>（追加）</u> （略）</td><td></td></tr></table> 30頁中 第3章 産業の振興 （2）その対策 ア 農業 ①耕作放棄地の解消 ・農地パトロールや<u>荒廃農地調査</u>などによる地域の状況把握や適正な管理指導 ・「<u>人・農地プラン</u>」の作成過程を通して、担い手への農地の集積や農地利用の効率化 （略） 30頁中 ②有害鳥獣対策 （略） ・<u>丹波市猟友会</u>との連携のもと積極的な捕獲活動の促進 （略） 38頁中 第5章 交通施設の整備、交通手段の確保 （1）現況と問題点 ア 道路・橋梁 青垣地域内には、民間バス路線があるが、<u>不採算路線の廃止により市中心部から青垣地域</u>	持続的発展施策区分	事業名（施設名）	事業内容	事業主体	備考	1 移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成	<u>（追加）</u> （4）過疎地域持続的発展特別事業	<u>（追加）</u> （略）	<u>（追加）</u> （略）		26 頁中 （2）その対策 イ 地域間交流 ②地域の活性化 （略） ・豊かな自然に囲まれた「<u>旧</u>丹波少年自然の家」の利活用 （略） 27 頁中 （3）計画 <table><tr><th>持続的発展施策区分</th><th>事業名（施設名）</th><th>事業内容</th><th>事業主体</th><th>備考</th></tr><tr><td>1 移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成</td><td><u>（2）地域間交流</u> （4）過疎地域持続的発展特別事業</td><td><u>旧丹波少年自然の家整備事業</u> （略）</td><td><u>市</u> （略）</td><td></td></tr></table> 30 頁中 第3章 産業の振興 （2）その対策 ア 農業 ①耕作放棄地の解消 ・農地パトロール_____などによる地域の状況把握や適正な管理指導 ・「<u>地域計画</u>」の作成過程を通して、担い手への農地の集積や農地利用の効率化 （略） 30頁中 ②有害鳥獣対策 （略） ・<u>捕獲団体</u>との連携のもと積極的な捕獲活動の促進 （略） 38頁中 第5章 交通施設の整備、交通手段の確保 （1）現況と問題点 ア 道路・橋梁 青垣地域内には、民間バス路線があるが、<u>地域内に集落が点在しているため</u>、移動手段の	持続的発展施策区分	事業名（施設名）	事業内容	事業主体	備考	1 移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成	<u>（2）地域間交流</u> （4）過疎地域持続的発展特別事業	<u>旧丹波少年自然の家整備事業</u> （略）	<u>市</u> （略）	
持続的発展施策区分	事業名（施設名）	事業内容	事業主体	備考																	
1 移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成	<u>（追加）</u> （4）過疎地域持続的発展特別事業	<u>（追加）</u> （略）	<u>（追加）</u> （略）																		
持続的発展施策区分	事業名（施設名）	事業内容	事業主体	備考																	
1 移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成	<u>（2）地域間交流</u> （4）過疎地域持続的発展特別事業	<u>旧丹波少年自然の家整備事業</u> （略）	<u>市</u> （略）																		

旧	新
<u>の中心部までの乗り入れしがなく、移動手段の中心は自家用車が担っている状況にある。</u> (略) また、山南<u>統合</u>中学校の令和5年4月開校に<u>向け</u>、道路整備計画に基づく市道谷川農免線の歩道整備を進め<u>ており</u>、通学路安全対策事業などの交通安全対策に<u>引き続き</u>取り組んでいく必要がある。 (略) 39頁中 イ 交通 (略) 青垣地域の路線バスにおいて、青垣地域発着の佐治～柏原駅間の利用者数は、高校生への通学定期券購入補助制度により回復傾向にある。平成23年4月には、佐治～大名草間の路線が廃止されたが、令和4年10月から同路線が新設される<u>予定である。</u> (略) また、令和5年4月の山南<u>統合</u>中学校の開校に<u>向けて</u>、遠距離通学となる生徒の通学を支援するため、バス路線の<u>延伸・変更について調整しているところである。</u> (略) 40頁中 (2) その対策 イ 交通 ①公共交通の充実 (略) ・山南<u>統合</u>中学校への通学利用のためのバス路線の延伸・変更 (略) 47頁中 第6章 生活環境の整備 (1) 現況と問題点 オ 公営住宅等 (略) 青垣地域においては、平成10年以降に市有の開発住宅地2か所(「応相寺宅地分譲団地」「丹波市優良田園住宅地」)を整備、これに加えて市営住宅<u>8</u>団地(「<u>新川町団地</u>」「<u>沢野団地</u>」「<u>小山団地</u>」「<u>岩本団地</u>」「<u>ウリウト団地</u>」「<u>青垣新町団地</u>」「<u>神楽団地</u>」「<u>佐治団地</u>」)、特定公共賃貸住宅1団地(「<u>応相寺団地</u>」)を管理している。 (略)	中心は自家用車が担っている状況にある。 (略) また、山南<u> </u>中学校の令和5年4月開校に<u>合わせ</u>、道路整備計画に基づく市道谷川農免線の歩道整備を進め<u>た。引き続き</u>、通学路安全対策事業などの交通安全対策に<u> </u>取り組んでいく必要がある。 (略) 39頁中 イ 交通 (略) 青垣地域の路線バスにおいて、青垣地域発着の佐治～柏原駅間の利用者数は、高校生への通学定期券購入補助制度により回復傾向にある。平成23年4月には、佐治～大名草間の路線が廃止されたが、令和4年10月から同路線が新設され<u>た。</u> (略) また、令和5年4月の山南<u> </u>中学校の開校に<u>より</u>、遠距離通学となる生徒の通学を支援するため、バス路線<u>が</u>延伸・変更<u>された。</u> (略) 40頁中 (2) その対策 イ 交通 ①公共交通の充実 (略) ・山南<u> </u>中学校への通学利用のためのバス路線の延伸・変更 (略) 47頁中 第6章 生活環境の整備 (1) 現況と問題点 オ 公営住宅等 (略) 青垣地域においては、平成10年以降に市有の開発住宅地2か所(「応相寺宅地分譲団地」「丹波市優良田園住宅地」)を整備、これに加えて市営住宅<u>7</u>団地(「<u> </u>」「<u>沢野団地</u>」「<u>小山団地</u>」「<u>岩本団地</u>」「<u>ウリウト団地</u>」「<u>青垣新町団地</u>」「<u>神楽団地</u>」「<u>佐治団地</u>」)、特定公共賃貸住宅1団地(「<u>応相寺団地</u>」)を管理している。 (略)

旧	新
59頁中  <u>丹波少年自然の家（青垣）</u> 61頁中 第 10 章 集落の整備 （1）現況と問題点 （略） また、青垣地域では平成29年 4 月の小学校統合により 4 つの小学校が閉校となり、山南地域では令和 5 年 4 月に 2 つの中学校を統合する予定である。 （略） 63頁中 第 11 章 地域文化の振興等 （1）現況と問題点 （略） 令和 2 年に檜皮葺に関する技術がユネスコ無形文化遺産に登録され、「山南ふるさと文化財の森センター」では檜皮職人の養成を行っている。 <u>青垣地域の青垣歴史民俗資料館は、展示館建物の老朽化が進んでおり、民具が雑然と置かれているため来館者が少なく、事前申込があった時のみ開館している。</u> （略）	59頁中 <u>（削除）</u> 61頁中 第 10 章 集落の整備 （1）現況と問題点 （略） また、青垣地域では平成29年 4 月の小学校統合により 4 つの小学校が閉校となり、山南地域では令和 5 年 4 月に 2 つの中学校を統合した。 （略） 63頁中 第 11 章 地域文化の振興等 （1）現況と問題点 （略） 令和 2 年に檜皮葺に関する技術がユネスコ無形文化遺産に登録され、「山南ふるさと文化財の森センター」では檜皮職人の養成を行っている。 <u>（削除）</u> （略）